

教育だより

とっとり 夢ひろば

TOTTORI YUMEHIROBA

VOL. 102

2021. WINTER

鳥取県教育委員会



《特集》

今、求められる学力とは？ —全国学力・学習状況調査から—
高校入試問題を解いてみよう！
中学生・高校生ポップコンテスト

今、求められる学力とは？

—全国学力・学習状況調査から—

今の学習指導要領には、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、対話を通して自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を身に付け、それぞれに思い描く幸せを実現してほしいという願いが込められています。これからは、「どれだけ多くのことを覚えるか」だけでなく、「**新しい時代を生きる力**」を育むことが求められています。

全国学力・学習状況調査は、学習指導要領における、「**今、求められる学力**」(*)を測るための問題が出題されています。

※今、求められる学力

- 急速に変化し、予測不可能な未来社会において、必要となる力
- 知識を関連づけて深く理解する力
 - 情報を精査して考えを形成する力
 - 問題を見出して解決策を考える力
 - 思いや考えを基に創造する力 等



全国学力・学習状況調査ってどんな調査なのだろう？

調査の目的は？

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、**教科指導の充実や学習状況等の改善に役立てるもの。**

調査の対象学年は？

小学校第6学年
(義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部を含む)
中学校第3学年
(義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部を含む)

どんな調査をしている？

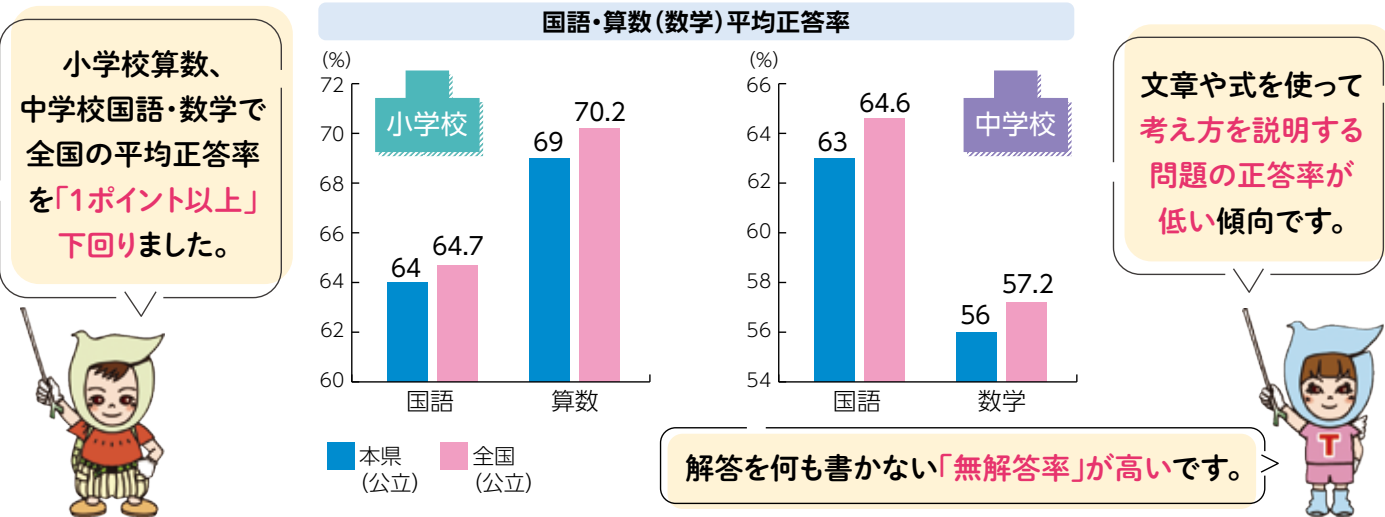
教科調査：教科に関する調査(国語、算数・数学)
質問紙調査：生活習慣や学習環境等に関する調査
【小学校】・国語、算数(R4は理科を実施予定)・質問紙調査
【中学校】・国語、数学(R4は理科を実施予定)・質問紙調査

どんな問題形式？

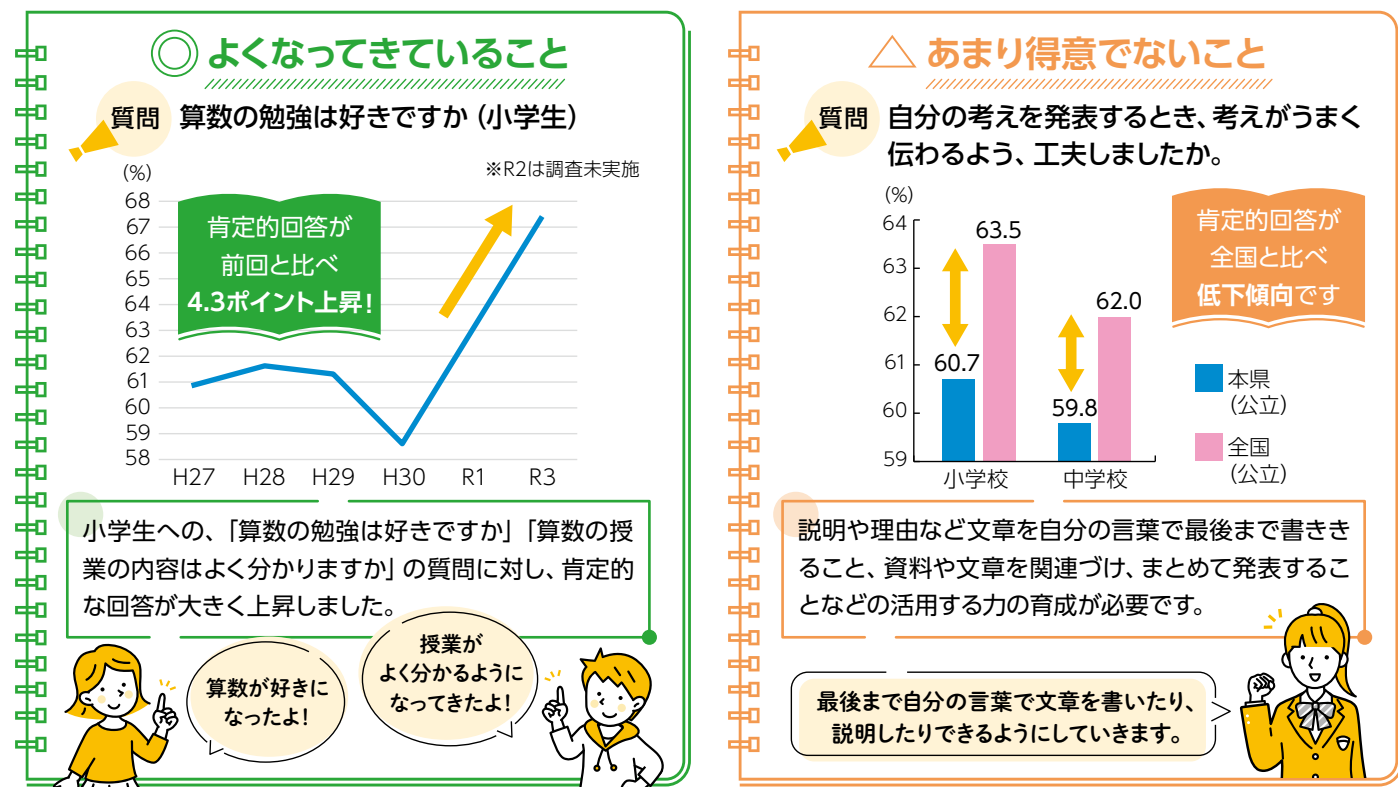
選択式…記号を選んで答える問題
短答式…簡単な言葉や文で答える問題
記述式…目的に応じて複数の資料から情報を読み取り、条件に従って書くなどの問題

今の「学び」が将来の自分や社会につながる

鳥取県の子どものたちの状況【学力調査】



鳥取県の子どものたちの状況【質問紙調査】



よくできていること

公式を使って解く、漢字や文法など、基本的な問題がよくできる。

- 小学校 国語 漢字を書く
- 小学校 算数 公式を使って面積を求める
- 中学校 国語 敬語を適切に使う
- 中学校 数学 中央値を求める

具体的にはこんな問題が出題されています

小学校算数 三角形や四角形の面積

(1) 直角三角形の面積を求める

正答率 61.3% (全国比 +6.2%)

あまりできていないこと

問われていることを理解し、知識を活用する問題が苦手。

- 目的に応じて、身に付けた知識をつなげて考えたり、表現したりする
- 自分の考えや解決方法を記述して答える

(2) (1)の直角三角形を組み合わせた図形の面積の①と②について分かることを選ぶ

- ①の面積のほうが大きい。
- ②の面積のほうが大きい。
- ①と②の面積は等しい。(正答)
- ①と②の面積は、このままでは比べられない。

正答率 69.6% (全国比 -2.9%)

ここでは公式がつかえないよ

※新たな知識を、自分が持つ経験やその他の様々な知識と関連づけながら深く理解し、「必要な情報を自ら取り出してつなげる力」を身に付けていくことが重要です。

今後の学校の取組

学校では、教職員全体で「今、求められる学力」を理解し、ねらいを明確に意識した授業設計をめざしています。日々の授業の中で子どもたちに力をつけるため、学習指導要領に基づいた授業改善に取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査分析リーフレットを作成しています。詳しくはQRコードで!

本県の高校入試においても、「今、求められる学力」を測るための問題が出題されています 次ページ

問合せ先 県教育委員会小中学校課 電話 0857(26)7947 FAX 0857(26)8170

基礎的な学力は身に付いているが、それを「活用する力」に課題がある。

高校入試問題を解いてみよう！ ~今、求められる学力とは~

中学生の皆さんがこれから迎える社会は、情報化やグローバル化が一層進展し、変化の先行きを見通すことが難しく、予測困難な社会であると言われています。そうした時代の中で力強く生きていくためには、**様々な社会問題を自ら発見し、主体的に学び、他者と協働しながら課題を解決していくなど、未来を創造する力が必要とされています。**

鳥取県における県立高校の入試でも、「今、求められる学力(※)」を測っています。

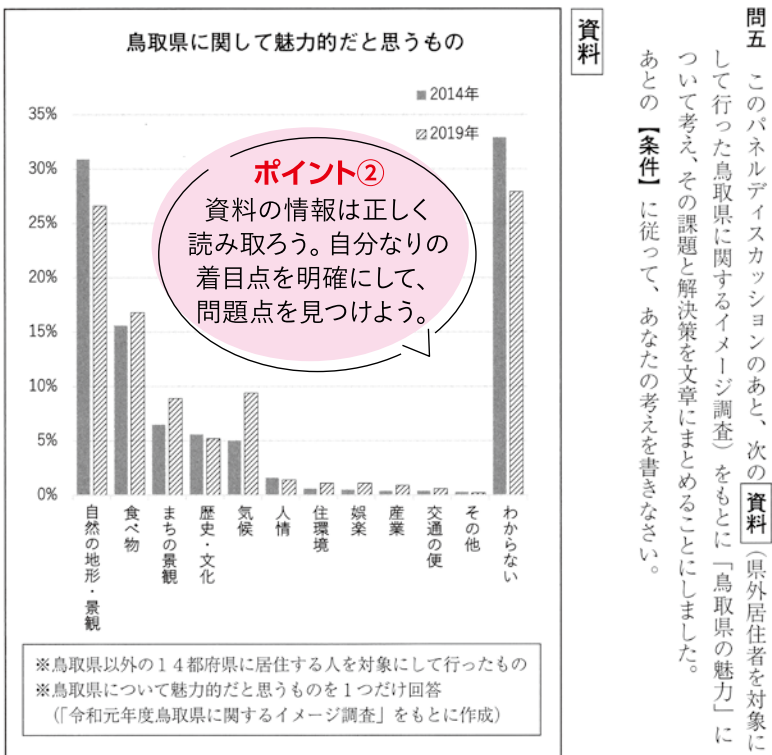
①~④のポイントを踏まえ、昨年度の県立高校の学力検査問題(国語)を解いてみましょう!

(※)…前ページ参照

問題のねらい

この問題は、情報を分析・評価し、論述する力を問う問題です。資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを条件に従って、適切な文章にまとめ論述することをねらいとしています。

国語



ポイント②
資料の情報は正しく読み取ろう。自分なりの着目点を明確にして、問題点を見つけよう。

※鳥取県以外の14都府県に居住する人を対象にして行ったもの
※鳥取県について魅力的だと思うものを1つだけ回答
(「令和元年度鳥取県に関するイメージ調査」をもとに作成)

【条件】

- ① 二段落構成とし、内容は次のとおりとする。
・ 第一段落には、資料から課題を読み取って書くこと。
・ 第二段落には、第一段落で挙げた課題についての解決策を考えて書くこと。
- ② 自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)を踏まえて書くこと。
- ③ 解答欄の八行以上、十行以内でまとめること。
- ④ 原稿用紙の正しい使い方に従うこと。
- ⑤ 数値を使う場合は、次の例に示した書き方で書くこと。

例
二〇一四年
二十五% または 二五%

ポイント③
条件を正しく読み取ることも大切です。知識や体験と関連づけて、解決策を考えよう。

ポイント④
条件にしたがって、資料から読み取った課題や、その課題についての解決策が自分の意見として適切にまとめられていることが重要です。

問合せ先 県教育委員会高等学校課
電話 0857(26)7916 FAX 0857(26)0408

みんなで防ごう!感染症

これからの季節、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の流行が考えられます。「かからない・うつさない・広げない」を合言葉に、一人一人が意識して感染症の拡大防止に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症から大切な人をまもるために

感染対策の6つのポイント

国内での感染はまだ止まっていません。感染力の強いケースも見られ、完全には安心できない状況です。引き続き、感染対策の徹底をお願いします。

- ① マスク着用・手洗い・寒くても換気の徹底
- ② 屋外でも、人と人との距離を十分に取る
- ③ 体調が悪ければ無理な登校はやめましょう
- ④ 会食時は大皿・箸の共用は避け、会食時はマスクを着用
- ⑤ マスクをしていても大声を出して騒がない
- ⑥ 県外との往來の際は特に注意

問合せ先 県教育委員会体育保健課
電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

問五

このパネルディスカッションのあと、次の資料(県外居住者を対象にして行った鳥取県に関するイメージ調査)をもとに「鳥取県の魅力」について考えた。あなたの考えを書きなさい。

資料

【例1】
私は、鳥取県の魅力について「わからない」と答える人が多いのが課題だと考えます。この課題の解決策として、SNSを活用して、一人一人が実感している鳥取県の良さを、たくさんの人に知ってもらうのがよいと考えます。私は、毎朝眺める大山の美しさや、新鮮な野菜のおいしさに感動します。このような身近にある鳥取県の魅力を、写真や動画を使って発信すれば、多くの人に知ってもらうことができると考えます。

【例2】
課題は、鳥取県の産業を魅力的だと思える人が少ないということです。しかし、情報通信技術が発達した今日、大都市のオフィスにいくなくてもできる仕事が増えた。都市で働く私の兄も、帰省した際、テレワークをしていた。そこで、廃校や空き家をワーキングスペースとして整備し、県外の企業を呼び込むのがよいと考えます。自然豊かな暮らしを楽しみながら、都市にいたいと同様の仕事ができることは、大きな魅力になると思います。

【例3】
鳥取県に関して魅力的だと思えるものとして「交通の便」を挙げる人が少ない。確かに、祖母も、バスや電車の数が少なく、病院や買い物に行くのに苦労すると言っていました。このことを解決するために、乗り合わせる交通システムを作るのがよいと考えます。予約された時間と場所を調整し、相乗りで目的地に送迎することにより、必要に応じた効率的な移動手段を確保し、不便を解消することができるのではないだろうか。

解答例

場面Ⅰ

パネリストの意見発表

場面Ⅱ

パネリストによる討論

【問題五】鳥取県の中学校のある学級で、「地域を活性化させるために私たちにできること」について、パネルディスカッションを行いました。その様子を表した次の場面Ⅰ、場面Ⅱを読んで、あとの問いに答えなさい。

(※注) パネルディスカッション…あるテーマ(論題)について、異なる意見をもつパネリスト(発表者)が、フロア(聴衆)の前で討論した後、フロアも討論に加わって全体で議論を深める話し合い。

場面Ⅰ
パネリストの意見発表
司会 これから、パネルディスカッションを始めます。テーマは、「地域を活性化させるために私たちにできること」です。三人のパネリストに、それぞれの意見を発表してもらいます。それでは、お願いします。
Aさん 私は、地域の自然と食を同時に楽しめるようなイベントを企画するのがよいと思います。そうすれば、地域外からも多くの人が集まり、収益も出ると思います。
Bさん 私は、地域の歴史や文化、町の様子について調べて、パンフレットを作るのがよいと思います。パンフレットは地域の方々に配布したり、施設やお店に置いてもらったりして、たくさんの方に見ていただけるようにするとよいと思います。
Cさん 私は、町の産業や住環境について、私たちの目線で動画を作成して市のホームページに掲載してもらおうのがよいと思います。そうすれば、県外から鳥取県への移住を考える人が増えると思います。

場面Ⅱ
パネリストによる討論
司会 ありがとうございます。三人の方から、それぞれの立場で意見発表がありました。それでは、質問や意見を出してください。
Cさん Aさんに質問です。自然と食を同時に楽しめるイベントとは、具体的にどのようなものですか。
Aさん 例えば、一日カフェはどうでしょうか。お客様が、豊かな自然の中で、特産物を1召し上がることで、自然と食を満喫することができます。
Cさん a、そのようなイベントを開催すると、たくさんのお客さんが来ると思います。b、一日限りのイベントでは、地域の活性化にはつながらないのではないのでしょうか。私は、鳥取県の住みややすさや魅力ある産業をホームページで紹介して、県外からの移住を呼びかける方がよいと思います。c、移住者が増えると、税金や消費などが増え、長期的な経済効果が期待できません。
Aさん Bさんに質問です。なぜ、パンフレットを作るのがよいと思ったのですか。
Bさん理由は二つあります。第一に、住んでいる私たち自身が地域について調べて知ることが、地域活性化の第一歩だと思ったからです。第二に、地域の方々がパンフレットを見ることが、地域の魅力を再認識することにつながると考えたからです。
Aさん 地域の魅力を再認識することが、地域の活性化につながるのでしょうか。
Cさん それについて、何か意見がありますか。
2 そうですね。まず自分たちが地域の魅力を知り、地域に愛着と誇りを持つことは地域活性化の原動力になると思います。さらにそれをホームページに掲載して、県外の人にも広く知ってもらうと、観光客や移住者が増え、地域の活性化につながると思います。

場面Ⅲ
フロアも参加して全体討論
司会 それでは、ここからはフロアの皆さんにも参加していただき、議論を深めていきたいと思います。(後略)

ポイント①
紹介されている意見(情報)をしっかりと読み取ろう!

中学生・高校生ポップコンテストを実施しました

中学生・高校生の皆さんが本を読んですてきなポップを作ってくれましたので、作品の一部を紹介します。
中学生・高校生が「家族や友達にも読んで欲しい」とおすすめする本です。冬休みにぜひ読んでみてくださいね。

鳥取市立国府中学校 3年 小倉 知佳 さんの作品
[兔の眼] (灰谷 健次郎/著 角川書店)

[審査員コメント]
細部にまで気を配り、丁寧に作品を仕上げられています。

鳥取西高等学校 1年 広富 愛奈 さんの作品
[偽恋愛小説家] (森 晶恵/著 朝日新聞出版)

[審査員コメント]
デザイン等人目を引きつける工夫がされています。

鳥取市立西中学校 3年 塩見 裕真 さんの作品
[家族だから愛したんじゃない] (岸田 奈美/著 小学館)

[審査員コメント]
明るさが伝わってくるポップです。

米子市立美保中学校 2年 平井 愛菜 さんの作品
[なぜ僕らは働くのか] (池上 彰/監修 佳奈/漫画 モドリカ/画 学研プラス)

[審査員コメント]
人型に配置された文字のレイアウトが秀逸。

三朝町立三朝中学校 1年 石田 愛那 さんの作品
[with you] (濱野 京子/作 中田 いくみ/画 くもん出版)

[審査員コメント]
水彩絵の具を上手に生かして繊細な作品に仕上げられています。

鳥取工業高等学校 2年 藤井 結子 さんの作品
[星の王子さま] (サン＝テグジュペール/作 内藤 濯/訳 岩波書店)

[審査員コメント]
言葉がシンプルで力のあるものになっていて、見ている人を温かい気持ちにしてくれます。

中学生・高校生 ポップコンテスト2021

[募集期間] 2021.8.2～9.30
[応募作品数] 1,278点
[優秀賞] 40点

他にも力作がたくさん! 優秀賞全40作品はこちらをご覧ください。

優秀賞のうち、県内書店や図書館で展示する作品もあります

問合せ先 県教育委員会社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175

鳥取県立図書館 ●外国語で楽しむえほんのじかん(ロシア語) 12月19日(日) 11:00～11:30
●おはなし会 毎週土曜日・毎週日曜日11:00～11:30

その他季節ごとの展示や詳しい内容はホームページをご覧ください。→

冬休みのおすすめ本

未就学児向け

「ぐりとぐらの1ねんかん」
(中川李枝子/作 福音館書店)
「あけましておめでとう」からはじまる、ぐりとぐらの1ねんかん。そりあそび、えんそく、なつやすみ。どのきせつも、たのしいことがいっぱいです。みんなで、1ねんをふりかえてみるのもいいですね。

低学年向け

「くしゃみおじさん」
(オルガ・カブラル/作 山村浩二/絵 岩波書店)
おじさんの大きなくしゃみで、どうぶつも、子どももみんなへんでこなかつた。うさぎの耳がついたねこや、ニャーとなく犬たちは、どうやって元にもどるのでしょうか? くしゃみの音も楽しい、絵本です。

高学年向け

「ハフトウワシ」
(前川貫行/写真・文 新日本出版社)
白い頭に、とがった黄色いくちばし。一度は絶滅危惧種にまで指定された、過酷な環境で生きるハフトウワシ。厳しい寒さの中での抱卵から、新しく生まれた命の巣立ちまでを、美しく力強い写真で紹介しています。

中学生向け

「星くずクライミング」
(櫻崎茜/作 くもん出版)
あかりは中学1年生のスポーツクライミングの選手。スランプ中でもうやめようかと悩んでいる時、身体に障がいがある人の「パラクライミング」を知り、目の見えないクライマーのナビゲーターとなって「ブラインドクライミング」に挑戦します。

問合せ先 鳥取県立図書館 電話 0857(26)8155 FAX 0857(22)2996

船上山少年自然の家

船上山ウィンターフェスティバル
2月5日(土) 10:00～6日(日) 14:30
1泊2日
参加費用:3300円程度
申込期間:1月13日(木)～27日(木) 17:00必着
対象:小中学生とその家族(兄弟(未就学児)もOK) 定員:12家族

春のピザ祭り
3月13日(日) 10:00～14:30
参加費用:1組2400円+1人150円(保険料)
申込期間:2月10日(木)～24日(木) 17:00必着
対象:小中学生とその保護者(未就学児不可) 定員:12組程度

問合せ先 鳥取県立船上山少年自然の家
電話 0858(55)7111 FAX 0858(55)7119
その他イベントは [こちら](#) →

大山青年の家

ファミリーエンジョイスキー
1月22日(土) A 8:30～15:30
B 9:00～16:00
C 9:30～16:30
参加費用:1000円程度
申込期間:12月10日(金)～1月6日(木) 17:00必着
対象:小学1～3年生とその保護者 定員:A～C合わせて80名

スキーハイキング
2月12日(土) 9:30～15:30
参加費用:1000円程度
申込期間:開催日の約1か月前からHP等でご案内します
対象:小学3年生以上(中学生以下は保護者同伴) 定員:50名

問合せ先 鳥取県立大山青年の家
電話 0859(53)8030 FAX 0859(53)8265
その他イベントは [こちら](#) →

※いずれも新型コロナウイルス感染症対策をとって実施します。今後の感染状況によっては中止の可能性もあります。

鳥取県立博物館

【企画展】
コレクション・マリアージュ:
SOMPO美術館×鳥取県立博物館
東郷青児と前田寛治、ふたつの道
会期:令和3年11月20日(土)～12月26日(日)
休館日:12月6日(月)
入場料:一般/800円(20名以上の団体・前売・大学生・70歳以上/600円) 高校生以下無料

会期中の関連イベント
12月18日(土) 14:00～15:00
担当学芸員によるギャラリートーク【要入場料】

問合せ先 鳥取県立博物館 電話 0857(26)8042 FAX 0857(26)8041

【歴史講座】
ぶちごまを作って回そう
お正月の遊びでおなじみのコマの歴史を学んだ後で、オリジナルのぶちごまを作ります。さて、うまく回るでしょうか。

日時:令和4年1月16日(日) 14:00～15:30
会場:鳥取県立博物館 会議室
定員:10名(主に幼児・小学生対象です。小学生以下は保護者同伴)

※要申込み。令和3年12月28日(火)から受付。
電話 0857(26)8044 のみ。
参加無料

この他にも常設展示や講座を開催予定! 詳しくはホームページをご覧ください。→

ヤングケアラーとは

自分がやらないと困る家族がいる ~ひとりで背負っている子どもがいます~

ヤングケアラーとは家族にケアを要する人がいる場合に、**大人が担うようなケアや責任**を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行い、自らの生活や学業に影響を受けている**18歳未満の子ども**をいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族にかわり、幼いきょうだいの世話をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



障がいや慢性的な病気のある家族の身の回りの世話や看病をしている。

参考出典/日本ケアラー連盟のヤングケアラー資料を参考に作成

2021年4月に国が発表した実態調査によると、公立中学2年生の5.7%(約17人に1人)、公立の全日制高校2年生の4.1%(約24人に1人)が「世話をしている家族がいる」と回答し、**1学級につき1~2人のヤングケアラーがいる可能性**があります。

困っている子どもたちへ

家族のためにがんばっているあなたの気持ちを誰かに話してみることで、心がラクになったり、対応策が見つかることがあります。困っていることを伝えてみてください。声に出すことで、何かを変えられるかもしれません。

家族や周囲の大人のみなさんへ

心配事、不安な気持ちを相談してみませんか。また、相談されたり、子どもが困っている様子が見られた場合、まずは「話」を聞いてあげてください。場合によっては相談窓口への相談を促すのも大切です。

ヤングケアラー相談窓口 <受付時間 平日 8時30分~17時(祝日を除く)>

【東部】福祉相談センター ☎0857(29)5460 【中部】倉吉児童相談所 ☎0858(22)4152 【西部】米子児童相談所 ☎0859(33)2020

令和4年度 鳥取県学生寮(東京)入寮生募集

明倫館(男子寮)

小田急小田原線 成城学園前駅徒歩7分
寮費:月額44,000円(予定)

申込資格 大学、短大、専修学校専門課程に入学予定または在学中のかた。

申込締切 令和4年1月28日(金)
※先着順ではありません。

清和寮(女子寮)

JR山手線 目白駅徒歩12分
寮費:月額49,700円(予定)

申込方法 各高等学校などで配布する募集案内をご覧ください。募集案内はホームページにも掲載します。

※各寮とも、寮費に食費(朝・夕食)を含んでいます。
※入寮時に、寮費とは別に入寮金を納めていただきます。

寮生の声

- 初めての都会暮らしは不安でしたが、同寮の人たちに囲まれ安心です。
- 食事がとてもおいしいです。



女子寮玄関にて



問合せ先 (公財) 鳥取県育英会 (県教育委員会人権教育課内)
電話 0857 (26) 8375 <http://www.tottori-ryo.or.jp/>

未来とりっこわくわく大作戦 スタンプラリー

県教育委員会では子どもたちに身に付けてほしい「4つの力と姿勢」について「とりっこ」を合言葉に行っている啓発の一環として、スタンプラリーを開催しています。「とりっこ」のスタンプやシールをすべて集めて応募すると、抽選で県立学校が作ったお米や鯖缶など、すてきなプレゼントがもらえるよ。今年分の**締め切りは12月末**！たくさんの応募まってるよ~!

景品(例)

倉吉農業高校のお米

境港総合技術高校の鯖缶

日野高校のジャム

※景品やパッケージ等は変更になる場合があります。

対象者

未就学児から高校生まで

応募期間

通年。ただし、毎年12月末で募集を締め切り、抽選を行います。

詳しくはこちら→

問合せ先 県教育委員会教育総務課
電話0857(26)7529 FAX0857(26)8185



教育に役立つ情報がいっぱい

鳥取県教育委員会
公式HP



公式
Twitter



公式
YouTube

